

近未来の世界遺産を目指す

本丸御殿の復元検討など江戸城全体整備構想の策定を目指し
江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくりの
形成・発展を目指し、取組を進めております。

2020年 今日的意義の検証を行いました。

照代勝寛：「照代勝寛複製絵巻」（名橋「日本橋」保存会）
（「照代勝寛複製絵巻」はインターネットでもご覧いただけます。）

江戸城の天守台・石垣は史跡の国宝でありダメージを与える事は決してできません。本物の石垣の上に、歴史上存在しなかった創作の天守を建築することは文化財保護法、国際憲章・グローバルスタンダードの面からも極めて難題であり不可能に近いと云えます。詳細はHP「ご存知ですか？江戸城天守台のこと」「理事長の特別メッセージ」参照

1. 江戸東京歴史文化資源の見える化により

江戸城跡の風格・価値を高める

特別史跡江戸城跡は、四季折々の自然や水と緑に囲まれた雄大なスケールにあり、**世界遺産に匹敵する**といわれています。城門をはじめとし、江戸城の痕跡は、随所に見ることができます。しかしながら、都市の再開発により摩天楼が空高くそびえ、東京の歴史性がうすれていく危機感があります。先人達により守られてきた多くの歴史文化資源は「点」として散在しているものの「群」としては見せることにより、**都市東京の歴史的景観の風格を高めていくことができる**でしょう。

2. 本丸御殿復元検討等江戸城全体整備構想策定学術調査研究は必須

江戸城の第一人者平井聖名誉教授の監修により 1860年に新築された「万延度本丸御殿」の資料に基づき、2014年再現を試みています。甲良家文書では「万延度の江戸城本丸御殿」は江戸時代の大工文書の中の白眉とわれ重要文化財に指定されています。

平井先生はNHKスペシャル「よみがえる江戸城」で「直ぐにでも復元できる。」とおっしゃっております。詳細は、HP「ご存知ですか？本丸御殿のこと」参照

3. 江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり&プラットフォーム

世界の首都の都心部は、いま、歴史的伝統と文化的創造による激しい都市間競争の時代に入っています。現在の都市東京には有形無形の文化財、伝統芸能やお祭りなど多くの歴史文化資源が人々に守られています。江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくりは、「プラットフォーム」の基盤整備を進めて参ります。詳細はHP「江戸東京歴史文化資源等・プラットフォーム」

4. 2020年 7月 今日的意義の検証

財団設立3周年を記念10月シンポジウム等開催

「国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関である日本イコモス国内委員会様」と共催させて戴き、第一線の研究者の皆さま、アドバイザー「文化財保存計画協会様」等による調査研究やシンポジウム等の成果及び今日の意義を通して社会一般に公開すると共に行政や関係機関等へ提言を進めて参ります。詳細はHP「シンポジウム・パネル等」「2020 今日的意義の検証」参照